

# 東奥日報

2017年(平成29年)11月7日 火曜日 (15)



ポスターを手にPRする佐々木さん(右から2人目)。同3人目は福田会長

## 八戸インカレーHは八戸、南部の3会場

佐々木さん(ハエ)が  
ポスターデザイン

日本学生氷上競技連盟は6日、八戸市のテクノルアイスパーク八戸で記者会見し、12月25〜29日に八戸市と南部町で開催する第90回日本学生氷上競技選手権(氷上インカレ)アイスホッケー競技

の概要を説明した。

同市での氷上インカレ開催は2008年度以来9年ぶり。

アイスホッケーの会場は、八戸市のテクノルアイスパーク八戸と田名部記念アリーナ、南部町のふくちアイスアリーナの3会場。各地区を勝ち抜いた代表14校とシード16

校、夏季大会優勝校と開催地推薦校の32校が参加するほか、女子チームによるリーグ戦を初めて実施する。スケート競技は来年1月に長野県軽井沢町で行う。

同連盟によると、これまでアイスホッケーとスケートの全競技を同じ開催地で実施していたが、競技日程が過密になりがちだった。このため、今回は選手の負担を考慮して開催地を2県に分離した。

記者会見には、同連盟の福田弥夫会長(八戸市出身、日本大教授)と渡辺慎吾理事長(八戸西高出身、駒澤大3年)、大会ポスターをデザインした佐々木由依さん(八戸工業大1年)らが出席。佐々木さんは「躍動感を大切にエネルギーなポスターに仕上げました」と笑顔を見せ、渡辺理事長は「節目の大会を地元で開催できるのは大変光栄。万全の準備で臨みたい」と意気込んだ。

(工藤俊介)

※「この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです」